

## <今後行われる、イベント>

### 9月7日(金)、8日(土) 第15回島民大学講座(首都大学と共催)

自分のものでありながら、なかなか思い通りにならない心について、動物の行動観察から解き明かそうとする研究の成果と、神秘的な宇宙誕生のドラマを物質の成り立ちから解き明かす研究の成果を、それぞれの専門家に学びます。

<第1日>9月7日(金) 午後7時~8時30分

「心とは何か - ダンゴムシの行動観察からわかったこと」

森山 徹 信州大学繊維学部准教授(比較認知科学、動物行動学、心と意識の科学)

「なるほど。ダンゴムシに心はある！」本講演では、みなさんにきっとそう思ってもらえる実験結果を紹介します。そして、研究の結果、私がたどりついた心の正体、「隠れた活動体」とは何かを解説します。それは本当に心の正体なのか？みなさん、ぜひ一緒に議論しましょう！

<第2日>9月8日(土) 午後7時~8時30分

「素粒子で探る、宇宙の謎」

住吉孝行 首都大学東京名誉教授(高エネルギー実験物理学)

約137億年前に宇宙が誕生したとき、すべての粒子は反粒子と対で作り出されました。ところが現在の宇宙には反粒子は存在しません。この謎を解くために加速器を用いた素粒子研究が行われています。消えた反粒子や暗黒物質など素粒子で探る宇宙の謎について分かりやすく説明します。

<受講無料・事前申込不要> 主催：八丈島文化協会・首都大学東京 後援：八丈町教育委員会  
協賛：七島信用組合八丈島支店

## 第92回 NPO あびの実 子ども招待公演 「The SHOW」 by to R mansion 2018年10月6日(土) 三根小学校・体育館 午後2時開演

パントマイム、アクロバット、演劇、マジック……“The SHOW”は、まるでおもちゃ箱のようなフィジカルシアター。4人のコメディアンがいろいろなキャラクターにくるくる変わり、ありふれた日常のものが、美しくユーモアあふれるファンタジーの風景を描き出す。4人のパフォーマンスが子どもたちの身体で表現することへの好奇心を刺激し、想像力と創造力の芽をぐんぐん伸ばす魔法のようなステージアート。

つまり“The SHOW”は、サーカスなの？ 大道芸？ もしや舞台劇？ えっ？ ぜーんぶひっくりめたもの？ 良くわからないけれど、なんだかおもしろそう。なんだか刺激的。フランスの演劇祭で全1082演目中のtop20に選ばれたそうよ。

これは是非見てみなくちゃ。

今回は、高校生以下なら無料で見られる子ども招待公演。

お父さん、お母さんも、ぜーんぶひっくりめて楽しんでね。



## 八丈島文化協会 会報 第25号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833  
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: [bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp](mailto:bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp)

2018年8月31日 発行

## 初の北大東島との太鼓交流会

～ 林英哲氏指導の北大東島の子ども達と八丈島の子ども達が交流 ～

八丈島・北大東島の子ども達による太鼓交流演奏会が、7月24日(火)おじゃれホールで開かれました。北大東村は、開拓・歴史・文化に八丈島と深い関わりがあります。7月23日、大東太鼓北曙会の小・中・高・OGの12名と副村長、北曙会の引率者、八丈島に縁故のある方など多くの方が来島されました。

北曙会は、有名な太鼓奏者の林英哲さんの指導を受けています。16時30分から、三根公民館で林英哲さんの指導によるワークショップが、八丈の子ども達も参加して行われました。応募で集まった八丈島の子ども達16人が、よされ会の奥山善男さんの指導で週1回、約2ヶ月間練習してきました。24日は平日の昼間で、来客数が心配でしたが、大勢の人々に観てもらえたと思います。

開会は、北大東島紹介のビデオがあり、鬼塚三典副村長より「この太鼓交流会を機に八丈町とのつながりを深くしたい」と挨拶がありました。この後、林英哲さんから「若い時に八丈島で習い観た太鼓が北大東島でたたかれていたことに感動した」話があり、英哲さんがそのまま司会進行を務められました。林英哲&英哲風雲の会の演奏、八丈島の子ども達、大東北曙会、奥山善男さん他3人の八丈太鼓。北大東島の子ども達と八丈島の子ども達の回し打ちなど、予定時間をオーバーして終わりました。迫力の太鼓、素晴らしい太鼓演奏会でした。八丈の子ども達も上手でした。北大東島の子ども達は高学年のこともありますが、上手さ、礼儀正さが目立ちました。女性のお客様が、「北大東島の子ども達の八丈太鼓、涙が出ました」と言って帰られたのが、印象的でした。





# 八丈島JAZZフェスティバル 2018

8月18日(土)はプロステージ、19日(日)はアマステージ 「おじゃれ」ホールにて

去る8月18日(土)、19日(日)の2日間、八丈島JAZZフェスティバル2018が大盛況で終了しました。当イベントの趣旨にご賛同いただき、ご協賛いただいた企業をはじめ、会場の客席誘導や駐車場の車両誘導係など、多くのボランティアスタッフの方々にも心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



さて、6回目の開催となる今年は、転機を目前に控える大事な年でした。発足当時から関わり、自らの手で創り上げてきた初代CJP(Children Jazz Projectという子どもたちの組織)が高校3年生となり、島を離れる前で最後となるJAZZフェスでした。後輩たちと行動を共にし、来年以降も継続して開催できるようにと引き継ぎを行なっている場面が随所に見られました。

初日のプロステージでは、ジャズ界の第一線で活躍されているヴィブラフォン奏者、赤松敏弘さん率いるコンボバンドの演奏を存分にお楽しみいただきました。お客様の中には、「島でジャズ・ヴァイブ(ヴィブラフォン)が聴けるなんて…」という声もあり大盛況でした。フード&ドリンクの提供においても、地元の高校生の努力の甲斐あって大好評。まるで、ジャズクラブ(ライブハウス)を思わせる雰囲気のまま幕を閉じました。

翌日のアマチュアステージでは、ゲスト3名(赤松敏弘Vib、市原ひかりTp、酒井麻生代Fl)のパワーも加わ

り、会場が一体となって盛り上がりました。CJPの発案により、子どもたちが250個のシャイカー(楽器)を製作。お客様と一緒に演奏をする場面を演出しました。また、6月に実施したクリニックの成果を披露すべく、頑張って練習をしてきた子どもたちの表情には、緊張感だけでなく、少し満足げな笑みを見ることができました。

また、今年は新たなチャレンジをしました。それは、子どもたちがジャズ特有のアドリブを演奏することです。これまでも、ソロを担当しゲストと競演する場面はありましたが、今回は楽譜もなく、その場で思い浮かんだフレーズを音にする“完全なアドリブ”です。ステージの中央に和太鼓を置き、その両サイドに同じドラムセットを並べ、“和”と“洋”のドラム合戦は圧巻でした。演奏中の子どもたちの表情は、今まで見せたことがないほどの満面の笑みでした。これこそ八丈島JAZZフェスティバルが目指していたことであり、大きな成果ではないでしょうか。

“子どもたちによる子どもたちのためのジャズフェス”未来を担う子どもたちに夢と希望を与えるイベントであり続けます。



## 7月22日(日) 参加者数：こども30、保護者13、スタッフ16 合計59人 自然っ子、八丈小島体験事業、終わる

早くも6月下旬に梅雨明けし、以降連日の猛暑に見舞われていた7月22日、自然っ子クラブ毎年恒例の八丈小島上陸体験ツアーに行ってきました。

八重根漁港から2艘の漁船に乗り込み、30分程で八丈小島の鳥打に到着。

上陸後は、まず旧鳥打小中学校までの散策。昔の住居跡を眺め、ノヤギの話などを聞きながら、小島の歴史を学びました。

船着き場に戻るといよいよ海遊び。口火を切って高学年の男の子が飛び込むと、子ども達が次々に、深くて青い海へ飛び込みます。今年はシーカヤックも登場し、希望者をのせて湾のはずれの岬まで何度も往復しました。

お昼は郷土料理のふぐ汁です。素替りの得意なスタッフが、大きなイシガキフグを2尾も獲ってきてくれたので、子どもたちの前でさばいて見せます。最近ではふぐ汁を作る機会が減ってきて、ほとんどの子が初体験。大きな鍋いっぱいできたふぐ汁は、おいしいおいしいと、あっという間に食べつくしてしまいました。

食後午後3時の迎いの船の時間まで思う存分海遊び。おやつのスイカを食べながら帰路につきました。短い時間でしたが、良い思い出となることでしょう。

最後に、いつも渡船を出してくれる優宝丸の文則さん、ありがとうございました。



## アイランド・モーターショー(8/25・26)に協力

東京都主催行事に文化協会も芸能等で応援(太鼓・月曜会、榎立踊り保存会、Soka 栄光バンド)



## <9、10月のイベント情報> (協会主催・後援・加盟団体主催、出演等)

協会の主催・後援イベントや加盟団体の活動を中心に掲載しました。詳細は協会ホームページおよび「Faxメール通信」をご参照ください。

- <9月> 7日(金) 第75回八丈島民大学講座1日目「心とは何か」
- 8日(土) 第75回八丈島民大学講座2日目「宇宙誕生の謎にせまる」
- 17日(月) ピティナピアノステップ(協会後援)
- <10月> 6日(土) 子ども招待公演「The SHOW」(あびの実主催、協会共催)
- 7日(日) 之津帆の会日本舞踊発表会
- 13日(土) 加茂川会20周年記念公演(協会後援)
- 27日(土)・28日(日) 24時間チャレンジ八丈太鼓



文協HP・QRコード